

賀より 滋だより

今年の秋のハイキングの候補として琵琶湖南岸・大津市を選びました。今回も高19回卒の林田実さんのお世話になります。

近江まち歩き

(大津編)

林田 実

大津市はJR京都駅から電車で10分人口約34万人の中堅都市である。県庁所在地でありながら、百貨店一つなし、古い商店街は閑散としながらも、琵琶湖畔には高層マンション群が林立。都会でもないし、田舎とも違う。そんな大津を歩いてみましょう。

○大津百町

江戸時代には東海道・中山道・北国街道(西近江路)が交差する交通の要衝かつ当時最大級の宿場町として賑わった大津。100を超える町の数とその賑わいから大津



大津祭曳山

○浜大津港

滋賀県の面積の六分の一を占める琵琶湖には随所に港がある。とりわけ浜大津港は湖東・湖西はもとより、

百町と称された。

アーケードの丸屋町商店街にある「大津祭曳山展示館」。入館無料の同館には毎年10月に開催される「大津祭」に登場する原寸大の曳山のレプリカが常設されている。曳山とは、京都祇園祭の山鉦のミニ版といったイメージで、祭り当日は13基が勢ぞろいし、町内衆が大きな御所車を引きながら練り歩く。曳山には全てからくりが乗っており、祭り当日は辻々で披露され、県内外から大勢の人が集まり大津百町の往時が復活する。

○大津城

大津城は豊臣秀吉によって普請された城で、琵琶湖の地形を活用した堅ろう強固な典型的な浮城水城だったと伝えられている。

大津城が歴史に残るのは1600年の関ヶ原合戦での出来事である。時の城主京極高次は石田三成の西軍に恭順を示していたものの、徳川家康率いる東軍に与し、合戦に臨む毛利軍を大津で足止めさせて関ヶ原の参戦を阻止して、家康の勝利に多大な貢献をしたとされている。

京極高次はその功績により、大津6万石から若狭小浜城主として8万5000石に加増転封され、正室のお初とともに、小浜の盟主として、領民に慕われたと伝えられている。

北近江や若狭から米穀・魚・資材等が運び込まれた良港である。

その浜大津港は現在ミシガン・ビアンカといった大型客船が就航し、琵琶湖観光の玄関口として、観光客を迎えている。

○義仲寺

琵琶湖畔にはマンション群が立ち並び、そのマンションから少し外れた場所に義仲寺がある。お寺という名がついている



浜大津港 ミシガン

ものの本堂もなく、小庵といった感じで、その名のとおり、木曾義仲の墓所である。義仲は従兄弟にあたる源義経と「宇治川の戦い」で敗北し、京都に逃げる途中「粟津の戦い」で義経軍が放った弓矢で顔を貫かれ一命をなくしたとされ、その



義仲寺

亡骸は粟津の地に葬られたものである。同所には愛妾巴御前の供養塔もある。

注目は、義仲の墓の隣りあわせに俳人松尾芭蕉の墓があるというところである。なぜ伊賀上野出身の芭蕉の墓が大津に？その謎は現地で確かめることにする。

○膳所城

再び湖畔に戻ると、一帯は「大津なぎさ公園」と称される遊歩道となっている。石垣に砂浜が続き、ウォーキング、ランニングコースが設けられている。週末ともなればブラックバスの釣り人が集う釣り人垂涎の人気スポットである。

膳所城は徳川家康が関ヶ原合戦に勝利して初めて普請した譜代大名の城である。この城は大津城から移転したもので、大津城同様に典型的な浮城である。城郭そのものは取り壊され、その本丸大手門だけは近くの膳所神社に移転されており唯一現存している。

「近江を制する者は天下を制する」琵琶湖に掛かる瀬田大橋は交通の要衝とし



膳所城址

て、重要視され続けてきた。徳川幕府も膳所城は瀬田大橋を守る要として天下泰平の世の中を支えてきたのである。
湖面に組まれた本丸の石垣は現存し、令和の今日になっても穏やかな琵琶湖面を易しく見守っている。

作者紹介

昭和42年天草高校卒業（高19回卒）
滋賀県大津市在住

大津宮

昨年ハイキングに参加をしました。大津を知り尽くされている林田さんに連れて行ってくださり、大津の歴史、石積み、歴史博物館、林田さんのお気に入りの場所、1万2千歩を歩いています。今年もとても楽しみです。

令和3年度 年会費納入者名簿 (敬称略)

高01	大脇啓運	高14	中村陽子・吉川節子・吉田桂子	高25	伊東和子
高03	伊達 シヅ子	高15	山崎浩生	高26	篠原智子・吉田豊子
高04	山下吉英・漆原真子・鶴田晃	高15	坂本洋征・松崎ヤス子	高27	森田哲郎・新谷百合子・山中正利
高05	今堀和男	高15	岡田長八郎・吉田和佐子	高28	岡田祐司・原田稔・田尻成志
高06	宮崎信敏・宮口浩	高15	濱田常弘・玉嶋義孝・本島昭男	高28	安村孝子・上崎愛子・前中泰子
高06	大塚隆・益田堅・向井 教	高15	横山鉄男・川久浩子・森田節子	高29	吉山敦子・鮫島誠
高07	金子徳資・濱崎朝恵	高16	松下義行・岩崎陽子・榎原幸枝	高34	濱田展生
高09	平野良明・鶴本節子・鎌田清喜	高16	竹尾翠・上元末隆・松本育子	高35	金子俊雄・前中一徳・元島 顕男
高09	船島公晃・平田弘子・西堀寛厚	高16	橋本信子・野島靖巨・吉野忠年		
高10	吉田博	高16	浜崎福広・松浦俊彦・内田清實		
高10	五通寛貞・高木エム・福田攝子	高16	福岡勝孝・山川九三男		
高11	藤井二葉子	高17	村崎立夫・今井広美・田代佐知子		
高11	益田信行・井上澄男・大平和昭	高17	小川恒昭		
高12	岩崎由直	高17	松山莊三・本田いくよ・岩口勝利		
高12	田畑学・松崎秀直・田中賀之	高18	富安規矩雄・池野光治		
高12	大安妙子・葦原設一・浜崎芳子	高18	濱崎逸喜・山中良三郎・倉田照美		
高13	鶴田勲・金子富美子・麻原和佳子	高18	千葉重治・山口エツ子・田中純子		
高13	猪口正基・角野美枝子・鶴田勲	高19	田中ゆき江・福本圭子・龍石末子		
高13	永田紘子・林藤枝・原田節雄	高19	白井喜代子		
高13	八木和子・吉田敏則・吉永悦雄	高20	山本はるみ・新木満雄・林田実		
高14	猪原友一・重松洋・重松昌子	高20	今福謙・原野裕子・中條博美		
高14	池橋洋子・吉村瞳・有働裕子	高20	荒牧たみえ・山中民子・三谷明美		
高14	末吉律子・角倉壽萬子	高21	金井保・安田幸美・山川セイ子		
高14	川上喜久雄・岩見壽寛・岡田健児	高21	相川博道・登山幸代		
高14	椎場光穂・太田勝信・園田節子	高21	坂口哲・山崎三男・中谷たみ子		
		高22	中川恵子・岡部徹・淀川和男		
		高22	小林悦子・近沢信子		
		高22	濱田誠一・山田淨敏・吉村理恵子		
		高23	岡部常興・畑野智子・安東ヒデミ		
		高23	徳吉由美子・福崎睦男		
		高23	三井 美穂子・堤義和・渡邊要子		
		高24	井上京子・伊藤房子・横田小夜子		
		高24	池田光義・原口奈美恵・奥村一枝		
		高24	杉本由美子・福井愛子		
		高24	荒木政雄・田嶋康男・平山信一		

前年度

繰越金	679,581
年会費	360,000 (180名)
協賛金	166,000
支出総計	536,806
次年度繰越	668,780

今期も多く年の年会費と協賛金
ありがとうございました。お陰
様で皆様に会報誌を発送できま
す。無駄のないように心がけま
す。

